

<問い合わせ先> 電話 078-391-6551

交通部

安全対策課長 長澤 孝二(内線 2640)

警備救難部

救難課長 網 信幸(内線 3250)



平成28年7月28日

第五管区海上保安本部

安全に楽しもう！マリンレジャー

～夏の海には危険がいっぱい～

梅雨も明け、マリンレジャー活動が活発となる8月は、海の事故が増加します。特に水上オートバイの事故や海水浴中の事故がこの時季に多くみられますので、以下の点に注意して、マリンレジャーを安全に楽しみましょう。

1 水上オートバイの事故の特徴（過去5年間の8月）

- ◇ 水上オートバイ事故の約40%は8月に発生。
- ◇ 操船に対する知識、技能の不足による事故(操船不適切)が特に多く、衝突事故原因の50%と高い。

➤ 水上オートバイを知りましょう

◆ ブレーキがない

水上オートバイは陸上の自動車やオートバイと違って、アクセルレバーを操作(速力を増減)して停止するため、スピードの出し過ぎは事故のもとです。

◆ 低速時は、船体が不安定

方向転換は困難になり、風や波の影響で安定しません。

➤ ルールやマナーを守りましょう

◆ 海水浴場付近では、スピードを落とし遊泳者に接近しない

◆ バナナボート等の遊具を曳航しているときは、乗船者を振り落とさないよう急旋回は厳禁

2 海水浴中の事故の特徴

- ◇ 8月は、海浜事故者が増加します。
昨年、海水浴中の事故が5割を占め、死者・行方不明者が6名も発生しました。
大切な命を守るために、以下の点に注意してください。

【海水浴中の注意事項】

- **指定された場所で海水浴をしましょう**
海水浴場・遊泳場として指定されているところは、流れもゆるやかで、監視などの安全体制も整っています。
- **離岸流に注意しましょう**
河口付近や外洋に面した海浜は、離岸流などの流れが強いため、遊泳や磯遊びするには危険なところが数多くあります。
- **小さな子供から目を離さないで下さい**
バーベキューの準備や帰り支度で子供から目を離した際に、子供が溺れた事例も多々あります。小学生以下の児童・幼児には特に注意して目を離さず、単独行動はさせないようにしましょう。
- **飲酒した状態での海水浴はやめましょう**
アルコールは平衡感覚が鈍るなどの影響があり危険なので、飲酒後の遊泳、磯遊びはさけましょう。
- **体調管理を万全にしましょう**
睡眠不足や疲労感を感じているときは、遊泳、磯遊びはさけましょう。